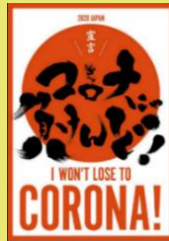


エス・パックス株式会社



原紙自動搬送ロボット導入による段ボール生産効率向上



本社ショールーム

原紙ロール交換に時間がかかっていた

段ボールの製造は、材料である原紙ロールを貼合機に搬送する作業からスタートするが、段ボールはその用途によって紙質・紙幅も異なるので、オーダーによって原紙の入れ替えが必要となってくる。しかし、従来の搬送システムでは原紙の搬入・搬出のラインが同じであり、手作業の工程もあるため入れ替えに時間を要していた。また、原紙ロールはセット操作が難しく時間を要するため生産ラインが中断することもあり、需要に生産が追いつかない状態が生じていた。



貼合機（コルゲーター）

こんな会社です

企画開発・デザインから納品まで

大正8年に鹿児島市樋之口町で菓子箱を製造する下園紙器店として創業致しました。現在は段ボール箱を中心に、化粧箱・貼箱・シールや包装紙等の各種包装資材を取り扱い、企画開発・デザインから納品まで自社一貫体制にて行っています。創業102年目を迎え地域に密着した企業として、これまで以上にお客様にご満足頂ける製品と、きめ細やかな行き届いたサービスを提供し、環境に配慮した事業活動・社会貢献活動を行ってまいります。



代表取締役 下園 廣一

原紙自動搬送ロボットを導入し、原紙ロール交換を自動化

段ボール原紙と
原紙自動搬送ロボットの一部

段ボールシートの材料となる原紙ロールの搬送から、設置・調整までを自動化できる「原紙自動搬送ロボット」を導入し、原紙ロール交換のサイクルタイムの大幅な短縮、生産効率の向上を図った。また、既設の高速製函装置と貼合機及び生産・工程管理システムを連動させることで、生産効率の向上、品質の安定化を図った。顧客のニーズに応じた多品種小ロット生産及び短納期化に対応できる生産体制が構築できた。

多品種小ロット生産への対応が可能になり、連続して増収を達成中

原紙自動搬送ロボットの導入により、生産量の増加、多品種小ロット生産など多様な顧客ニーズへの対応が可能となり、設備導入以降連続して増収を達成している。また人員・労力を必要とする作業がなくなったことで、作業員の負担も軽減され、作業環境の改善にもつながった。今後は特に多品種小ロット生産物件の販路拡大、納期短縮に努め、顧客満足度の向上を図ることで、更なる受注拡大につなげていく。



段ボール製品

段ボール製品の災害時対応で社会に貢献します



感染症対策パーティション

近年、物流以外の様々なシーンで段ボールが活用され、存在が見直されている。特に自然災害発生時における備えが求められている昨今、当社は南日本段ボール工業組合の一員として、県との防災協定「災害時におけるダンボール製品の供給協力に関する協定」を締結し、簡易ベッド用の段ボールの製造などで災害時のサポートに努めている。今後も段ボールの可能性や強み、魅力を探求し、暮らしに寄り添う製品開発に取り組んでいきたい。



段ボールベッド

info

エス・パックス株式会社
代表取締役 下園 廣一

事業実施場所
〒891-0131
鹿児島市谷山港2-2-9
TEL 099-262-1111
FAX 099-262-3896
<http://s-pax.co.jp/>

設立 昭和28年3月
資本金額 4,000万円
従業員数 97名
業種 パルプ・紙・紙加工品製造業



社 屋